



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2009年1月23日

LOJAPR09/01-No. 123

プレスリリース

ミャンマーにおけるエヤワディ・デルタのサイクロン「Nargis」
被害地における食料安全保障および農業を基盤とする生計復興事業
—日本政府がFAOを通じた2億円の拠出を決定—

国際連合食糧農業機関（FAO）は、日本政府より2億円の無償資金協力（貧困農民支援）を得て、ミャンマーにおいて「エヤワディ・デルタのサイクロン Nargis 被害地における食料安全保障および農業を基盤とする生計復興事業」を実施する。

このための書簡交換が、1月23日(金) ローマにて、ホセマリア・スンプシ FAO 技術協力局長と、安藤裕康駐イタリア大使との間で行われた。

(別紙) 事業の背景、概要および期待される成果

本件問合せ先：FAO日本事務所
T e l : 0 4 5 - 2 2 2 - 1 1 0 1
F a x : 0 4 5 - 2 2 2 - 1 1 0 3
E m a i l : FAO-Japan-Info@fao.org
www.fao.or.jp www.fao.org

エヤワディ・デルタのサイクロン「Nargis」被害地における食料安全保障および農業を基盤とする生計復興事業

1. 実施期間： 2 年

2. 予 算： 2 億円

3. 受益者： サイクロン被害を受けた小規模農家および土地なし農民を含む脆弱な農村住民（エヤワディ管区、ヤンゴン管区の 11 都市）

4. 背景：

2008 年 5 月 2 日から 3 日にかけてミャンマーに上陸したサイクロン「Nargis」によって、米および夏季作物の生産を行っていた小規模農民が深刻な被害を受けた。

約 80 万ヘクタールの水田が浸水し、特に堤防の崩壊により乾季稲作への塩害が懸念され、塩害に強い種の栽培が必要とされている。約 3 万ヘクタールの夏季稲作が被害を受け、13 万トン以上の損失となっている。

また、ココナッツ、バナナ、マンゴーなど 3 万ヘクタール以上の果樹も深刻な打撃を受けている。さらに、伝統的な竹で作った貯蔵庫がサイクロンで破壊されたことにより、貯蔵していた種子の 75－85%が被害を受けたが、農民たちは高品質の種をミャンマー農業サービスや公共部門などから手に入れる資金を持っていない。

サイクロンで最も被害を受けたエヤワディ管区およびヤンゴン管区の 11 都市では、およそ 12 万の家畜が失われた。

特に農村の 45－55%を占める土地なし農民は、裏庭での小さな菜園、畜産等で生計を立ててきたが、今回のサイクロンでその手段を失った。小規模農民(女性が支える零細な家計を含む)および土地なし農民に対して、早急な支援が必要となっている。

5. 事業目標

サイクロンの被害を受けた小規模農民および土地なし農民を含む脆弱な農民の穀物生産、果樹栽培、小規模畜産等の復興および所得の増加

6. 活動内容

- (1) 米および主要穀物の生産に必要な資材供与を通じた農業生産の向上
- (2) 流失した荷物運搬用の家畜の支給を通じた深稲栽培の再開
- (3) 脆弱な土地なし農民への支援
- (4) 技術支援(ペスト管理、種子貯蔵、収穫後処理、農機具の管理)

